

【家庭教育支援チーム】

(1)活動主体(チーム)について

①チーム名 (呼称)	幸田町家庭教育支援チーム (呼称:幸田町子育てネットワーカー) URL: https://www.town.kota.lg.jp/soshiki/24/23235.html
②活動拠点	幸田町内(さくら会館、町民会館等)
③活動範囲	幸田町内全域
④組織体制	<u>9</u> 人 愛知県子育てネットワーカー
⑤活動開始年度	平成11年度
⑥問合せ先	(部署・氏名等) 幸田町教育委員会文化スポーツ課文化グループ (TEL)0564-62-1111(内線 197) (E-mail) bunkasports@town.kota.lg.jp

(2)活動内容について

①活動形態 (複数チェック可能)	☒ 保護者等への学びの場の提供 ☒ 保護者等への地域の居場所づくり ☐ アウトリーチ型家庭教育支援(※保護者の居場所に出向いて届ける支援) { ☐自宅に届ける支援(情報提供、相談対応等) ☐保育所・幼稚園・学校等に届ける支援(情報提供、相談対応等) ☐その他の保護者に届ける支援(情報提供、相談対応等) ☐ その他()
②活動対象 (複数チェック可能)	☒ 乳幼児 ☐ 小学生(低学年) ☐ 小学生(中学年) ☐ 小学生(高学年) ☐ 中学生 ☐ 高校生以上 の子供を持つ保護者に対する活動を実施

③活動内容

【具体的な活動内容】

未就園児(2歳程度)とその保護者を対象にして年間四つの教室を開講している。

・親子ふれあいひろば(春の部) 5月～6月 全4回程度(さくら会館等)

各教室は時期に合わせて教室の内容を決定し、幸田町子育てネットワーカーが主体になって活動を行っている。春の部は春のうらかな時期に外遊びを中心に普段外で遊べていない子供たちに外遊びの楽しさを知ってもらう。



・親子ふれあいひろば(秋の部) 10月～11月 全4回程度(さくら会館等)

秋の部でもどんぐり探しやハロウィン会など季節の楽しさを知ってもらえるように企画をしている。また、教室によっては消防署見学などを企画して、子供たちが興味をもつものは何かを考え、毎教室同じ内容にならないように工夫をしている。



・親子ふれあいクリスマス会 12月頃(町民会館)

クリスマス会では楽器演奏者を招いて本物の音楽に触れてもらっている。また、バルーンアートができる方を招いて、子供たちも保護者も楽しい会になるように企画をしている。会の最後ではサンタさんから子育てネットワーカーの手作りプレゼントが渡される。



・親子ふれあい春まつり 2月下旬(町民会館)

春まつりでもクリスマス会同様に楽器演奏者やバルーンアートができる人を招いて春らしい会を開催している。人形劇やプロジェクターや音楽を使った劇など、毎年違う内容で開催している。



④活動の成果 (活動実績がある 場合)	最近土曜日の開催を多くすることによって、母親の参加が多いところを、父親や祖父母の方に参加を促している。普段、仕事等で、なかなか家族でふれあう機会が少ない家庭において、親子の絆を深めることに寄与している。会の終わりにアンケートを取ると、「この会をとおして子供が成長していることが分かった」や「前は〇〇ができていなかったのに今ではできるようになっていたことに気づいた」など、保護者が子供の新たな気づきに喜びを感じている様子が見えてくる。 また、本活動は平成11年から行っており、町内の中でも当時から先進的な活動として注目されており、現在行われている他の子育て支援に関する行政の取組の参考にもなっている。
⑤活動財源 (複数チェック可能)	☐ 文部科学省補助事業(事業名:) ☐ 文部科学省委託事業(事業名:) ☐ 厚生労働省事業(事業名:) ☒ 地方公共団体単独事業として実施 ☐ 特段の予算措置はない(自主的に活動を実施) ☐ その他の支援により活動を実施 ()